



第91号

発行 兵庫県立神戸特別支援学校

編集 総務部広報係

〒651-1144 神戸市北区大脇台10-1



「なぜ」と「強み」を大切にした協働を

校長 大脇 知子

この4月に着任いたしました大脇知子です。これまでずっと特別支援学校で勤務してきました。神戸特別支援学校での勤務は初めてですが、本校のさらなる飛躍に向けて尽力したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

今年度は小学部44名、中学部48名、高等部87名、計179名でスタートしました。今年度の学校経営方針の重点目標といたしまして、学校教育活動における「なぜ」と「強み」を大切に取組んでまいりたいと考えています。

子ども達への指導・支援において大切なことは、実態をしっかりと把握することです。実態を把握する際に

は「なぜこの行動はできないのだろう?」「なぜこんな風に行動するのだろうか?」、逆に「なぜこの行動はできるのだろうか?」といった、まずそれぞれの「なぜ」を整理することが欠かせません。

また、実態の把握に特に重要な点は、「できている行動」「強み」「好きなこと」を積極的に把握することです。課題を克服する方法は、実は「できている行動」や「強み」の中にヒントが隠れています。「好きなこと」を活用することで、得意なことやできている行動をさらに伸ばすこともできます。そして子ども達の行動は、常に子ども達の実態と環境との相互作用で形成されて

いきます。つまり、子ども達の行動形成には、実態以外に周囲の環境の要因が大きく影響しているということです。

環境には、教材・教具や机・椅子、生活環境等の物理的環境と、教材・教具の提示の仕方や教職員・保護者の皆さま等の周囲の支援者の関わりといった人的環境があります。それぞれの環境を整理して指導・支援方法を設定する必要があり、その際には、保護者の皆さまの協力が何より重要と考えています。

教職員は教育の専門家であり、保護者の皆さまはお子様に関する専門家です。それぞれの専門家同士が連携して学校や家庭・学園で

のお子様の情報を共有し、お子様・学校・保護者の皆さまが三位一体となって協働しながら、日々子ども達への支援・指導を充実させていきたいと思っています。本年度の個別の指導計画を立てる際に、保護者の皆さまから子ども達の「できている行動」「強み」「好きなこと」や環境等の様々な情報やご意見をいただければと思います。また、毎日の連絡帳やお電話などでも情報の共有をよろしくお願いいたします。

日々、子ども達は成長していきます。子ども達が少しでもできるようになったことを学校と保護者の皆さまとともに喜び合えるよう、教職員一同一丸となってチームとして子ども達の成長を支えたいと思っています。皆さまのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



小学部

かけっこでは、初めて運動会に参加する1年生もゴールを目指して元気に進み、高学年は白熱したレースで盛り上げてくれました。「WA!～みんなで架ける虹の橋～」のダンスは、本番で練習の成果を十分に発揮することができました。今年度は、たくさんの保護者の皆様の温かい声援のもと、子どもたちのいきいきと輝く姿が見られた運動会になりました。ありがとうございました。運動会を通じて成長できたことを今後の学校生活に生かしていきます。

中学部

中学部の運動会の演技は、「徒競走」と「ダイナミックDREAMダンス」でした。徒競走は、練習ごとに順位が変わる楽しめる展開でした。ダンスは学年ごとに練

習を積み上げて、全体で集まって完成させていきました。ダンスの練習は、授業だけでなく昼休みや午後のクラスの時間に、プレイルームでビデオを見ながら、自主的に練習している生徒がいっぱいいました。学部全体で、共通して楽しめるものがあるのは、とてもありがたいことです。その成果が十分発揮できた運動会でした。

高等部

高等部1年生は「走って回って大きなバトンをみん

なで繋げ」、足並みの揃った行進と、ゴールに向かってひた走る姿が印象的でした。

高等部2年生は「回れ! Merry Go Round～努力感謝 笑顔を見せて～」、隊形移動を取り入れた様々な動きとカラフルなポンポンの可愛い動きが素敵でした。

高等部3年生は「派手に舞って、舞い上がれ、我らの絆」傘、旗、パーランクーが別々の動きをしているのに統一感があり、最高学年としてのパワー、迫力と格好良さに圧倒されました。

令和4年度神戸特別支援学校紹介

小学部

今年度の小学部は、新入生12名、転入生3名を迎え、44名でスタートしました。毎日元気な声があふれています。

小学部は、「身のまわりのことがらを自分でしよう

とする力を養う」「いろいろなことはたらきかけを受け入れ、自分からはたらきかけようとする心を育てる」という従来の2つの目標に加え、新たに「自分のからだに関心を持ち、健やかなからだをつくろうとする態度を育む」という学部目標を掲げています。一人ひとりが明るく楽しい学校生活を送れるように、日常生活に必要な基本的生活習慣を身に付けたり、集団活動に参加する意欲や態度を育んだりしながら、心身ともに健康な身体づくりに取り組み

ます。

また、今年度より「じかつ」の授業を新設し、自立活動の学習の充実を図ります。一人ひとりの発達や障害の状態を丁寧に把握し、個々の実態や特性に応じた課題を設定しながら授業を進めています。興味や関心、また得意なことなどを生かしながら、子どもたち自身が学ぼうとする力を伸ばしていくことを目指します。

感染症予防は依然として気を抜けない状況ではありますが、校外学習や学校全体の行事、交流学习なども

実施され、少しずつこれまでの学校生活を取り戻しつつあります。様々な学習活動を通して生活経験を広げ、子ども同士、また教師との関わりの中で豊かな心を育んでいけるよう、保護者の皆様と連携を図りながら、日々の教育活動に取り組んでいきます。(福西)

中学部

令和4年度がスタートしました。新入生14名を迎え、中2が21名、中3が13名で、中学部は48名の生徒数となりました。2年生、3年生は、中学部の先輩として新

人生を導いてくれています。また後輩の手本となるようにと、頑張っている姿に、頼もしさを感じています。生徒同士からお互いが学ぶことは多いです。友だちが頑張っている姿を見て、自分もやってみよう、努力してみようという気持ちが育まれているのだと思います。

運動会では、生徒会の役員9名が手伝いをしてくれるので、運動会の練習終了後に、生徒の前で紹介しました。照れながら前に出てきた生徒会役員でしたが、みんなで頑張ろう！と声を

かけると、清々しい笑顔で答えてくれていました。みんなの前で紹介することで、自分たちも、そして他の生徒達も一緒にやっという気持ちがいっそう育まれたように感じました。

中学部は、子どもから大人へと成長していく過渡期です。勉強や遊びだけでな

く、社会に出るってどういうことなのかな？仕事をすることってどういうことなのかな？今、どんなことを頑張ればいいのか？と、少しずつ将来の事を考えていく機会を設けて、ゆっくり考えていくことができるようにしたいと思っています。あせることなく、自分達のペースでいいので一歩ずつ教師と一緒に進んでいけたらと思っています。みなさん、中学生生活を思いっきり楽しみましょう！笑顔を増やしましょう！

(桐田)

高等部

27名の新1年生を迎え、3学年合わせて87名の生徒とともに、新年度がスタートしました。高等部では「①豊かな心とたくましく生きる力を養う②自ら考え、行動できる力を養う③社会生活に必要な知識・技術・態度を養う④人として豊かな生活を築いていく力を養う」の4つの教育目標を掲げ、卒業後の自立と社会参加に向けて、日々の教育活動に取り組んでいます。

学習活動において、今年度、大きく変わった点が2

点あります。まずは、これまで学年単位で活動していた「作業学習」が、2、3年生のみ縦割り班で活動するようになった点です。農園班、軽作業班、手芸雑貨班、木工班、陶芸班の5つに分かれ、生徒それぞれの特性に応じた作業内容や環境設定の中で、作業に取り組んでいます。他学年の生

徒と触れ合う中で、互いに良い刺激を受けながら活動ができています。1年生は次年度以降の準備期間と位置づけ、これまで通り学年単位で活動しています。

2点目は、火曜日の午前「職業／生活単元学習」、午後「自立活動」の授業がスタートしたことです。「職業／生活単元学習」では、「働くこと」や「生活

すること」に焦点を当て、卒業後の社会参加に向けて必要な力を育んでいきます。午後の「自立活動」では、クラス内で少人数に分かれ、個人の特性や実態に応じたカリキュラムを組んで活動します。

今年度も感染症予防対策を徹底しながら、自分らしい生き方の実現に向けて様々な経験ができるよう支援していきます。

(先坊)



令和3年度

進路報告

進路指導部

令和3年度は依然として新型コロナウイルスの影響は残っていましたが、保護者をはじめ多方面の協力の下、1年を終えることができました。

高等部1年生は、10月12日～14日の3日間、校内実習を行いました。4班に分かれて終日作業に取り組みました。外部受注の資材を用いる班もあり、日々の授業とは違った緊張感がありました。班によっては、1日ずっと立ったままの作業ですが、充実した3日間でした。

高等部2年生、3年生は6月から現場実習に臨みました。2年生は6月23日～25日の3日間、3年生は6月14日～18日の5日間の実習でした。計28事業所に協力をいただき、無事終えることができました。

高等部2年生にとっては初めての現場実習でした。3日間とはいえ、緊張して戸惑うことも多くありましたが、ほぼ全ての事業所からお褒めの言葉をいただきました。

高等部3年生は3回目の実習となり、さらに卒業後の進路を考える上で重要な実習でした。以前と同じ事業所で取り組み、慣れた環境の下で実習を行った生徒は十分に力を発揮することができました。

1回目、2回目とは違う事業所で実習を行う生徒は、以前とは異なる事業所で体験することで、新たな適性を見出すことができました。

3年生は7月の個別進路面談を通して、最終的な進路先を絞っていきました。4回目となる最後の現場実習(10月18日～22日)は、結合実習と位置づけ、卒業後に利用する予定の事業所で行いました。4月からの利用を想定して、これまでは教師がマンツーマンでそばについていた実習も、少し離れて見守るようにしました。実習を終えて、進路先も徐々に決まっていきました。

職業訓練校を受験する生徒や企業就職で内定を受けている生徒はこの実習には参加せず、校内で面接や計算・漢字の学習をしました。また、外部受注作業や校内清掃にも取り組みました。

企業就職を目指す生徒は、7月に求職登録のためハローワークの担当者と面接を行いました。企業側の意向で、内定を受けるまで数回にわたり実習に臨んだ生徒もいました。ご家庭の協力もあり、厳しい実習を通し希望者全員内定を頂くことができました。

令和3年度、高等部3年生28名は、それぞれの思いを胸に新しい道へと羽ばたいていきました。今後も益々成長してほしいと思います。

卒業後も進路指導部が中心となり、進路先を順番に訪問しています。少しずつ慣れてきたようで、卒業生はみんな元気に頑張っていました。これからも応援していきます。

種 類	進 路 名
就 職	神戸乗馬倶楽部
	グンゼ物流株式会社
	特別養護老人ホーム さくらガーデン
	特別養護老人ホーム 駒どりの郷
	万代 神戸星和台店
進 学	兵庫障害者職業能力開発校
就労移行支援	神戸市立ワークセンターひょうご
就労継続支援B型	サニーサイド神戸
	箕谷すみれガーデンズ
	きたベジふぁーむ
	北鈴すみれガーデンズ
	ワークショップ絆
	ユニバーサルワーキング
	ほっとステーションぽてと
	ドリーム&YUME作業所
自 立 訓 練	陽気の杜
	ユニバーサルカレッジ
生 活 介 護	マザーリーフ
	ネオライフサポート
	三田わくわく村大原事業所
	ハイ・にこ・ボン
	やまあらし
	ホーリーツリー東部 たおじ分室
児童施設延長	陽気会 成人施設



